

2022年10月の行事予定表

1	土	世界聖餐日・主日礼拝式、聖餐式 教会役員会	16	日	礼拝式
2	日		17	月	
3	月		18	火	
4	火		19	水	
5	水	礼拝式、清掃日	20	木	
6	木		21	金	
7	金		22	土	
8	土		23	日	礼拝式、清掃日
9	日		24	月	
10	月		25	火	ナザレン教会援助金検討委員会
11	火		26	水	
12	水	27	木		
13	木	28	金		
14	金	礼拝式	29	土	
15	土		30	日	
			31	月	宗教改革記念日 ナザレン宣教検討委員会(ズーム)

10月お誕生・洗礼記念日の皆様、おめでとうございます。

編集後記

- ◇ 今月号は嬉しい寄稿もあり、矢島楯子特集となりました。
- ◇ 映画はコロナ感染拡大の時期と重なり、足を運べなかった方が多かったかと思いますが、このような形で感動を共有でき幸いです。
- ◇ 「四姉妹物語」が教会図書に購入されて最初に借りたのが Y.F.さん。夏休みをはさんで、感想文を寄せていただきました。爽やかな陶器の作品と共に皆さんにおとどけします。

教会月報

2022年10月

No.377

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

無病(数病)息災

「白髪は誉ある冠。正義を行なう道に見いだされる。」

箴言 16章 31節

今年も季節が夏から秋へと入れ替わり、あの夏の酷暑が続いていたことを忘れさせられます。四季折々の季節感を味わえることは恵みの一つですね。しかし、台風の到来で苦しまれた人々がいらっしゃいます。早く復旧され、回復されますよう祈ります。

さて、9月の敬老の日の行事、当教会では「長寿者を祝う会」としてお祝いしました。80歳以上の方が対象で、8名の方がおられました。

毎年、平均寿命が延びますが、それに比べ健康寿命(自らの世話をご自身で賄うことができになる)は10年近く短いようです。8020の数字は80歳で20本の歯を維持しましょうと勧められています。最近の調査では約半数の方が20本の歯を維持されているそうです。健康に気を付けて過ごされていることがうかがい知れます。

小生は今年心臓手術を受け、現在、薬を服用して健康を維持しています。かつては、無病息災を願うことが多かったようですが、今日は一病息災いや、数病息災と言われる時代となりました。病がなければいいことなしです。しかし、病とうまく付き合いながら人生を歩むことができれば幸いです。新聖歌 298番に「主(イエス・キリスト)に任せよなが身を 主は喜びて助けまさん 忍びて春を待て、雪は解けて花は咲かん 嵐にも闇にもただ任せよ なが身を」とあります。神様に支えられ守られ、助けられていかされる人生は幸いです。「白髪は誉ある冠」若い者も老いたる者も神は一人一人を大切にもち運ばれるお方があります。

牧師 永松 清

私は10:30分の上映に参加しました。映画の内容から特に女性の方が多く参加されており、ほぼ座席が埋まっていた。年齢も70歳以上の方が多く、中には親子連れ方も数名いました。

映画のストーリーは1833年熊本に生まれ極端な男尊女卑社会で苦勞をし、夫の度重なる家族への暴力から離縁状を叩きつけ上京し、兄のすすめで小学校の教員となり、アメリカ人の先生から女院の校長をすすめられ、洗礼を受けクリスチャンとなり、1866年日本キリスト教婦人会を結成し、初代会長となり、明治・大正という女性にとって厳しい状況の中、女子教育に力を注ぎ女性解放運動に生涯を捧げた矢嶋楫子の物語でした。映画のストーリーも大変感動し全ての基本は愛と感謝と強く感じました。

それ以上に監督の山田火砂子氏の力のこもったあいさつに希望と勇気をいただきました。これからの自分の進む道をじっくり考える時間をいただきました。山田監督は90歳で前日の真庭市で体調を崩され点滴をうって本日の舞台あいさつに臨まれたそうです。90歳とはとても思えないバイタリティーのある話し方で本人曰く、頭は常にフル回転、しかし身体の方は少し足が悪く杖が必要とのことでした。

話の中で特に力を入れて語られたのは、子育てが終わり部屋に閉じこもるのではなく、積極的に外に出て目標をもって勉強に力をいれて、社会に貢献してほしいということでした。

監督は今後もこだわりを持って益々益々いい映画を作っていきたいと語られました。90歳の監督に期待したいです。

E.S. 兄

映画

「われ弱ければ

かじこ 矢嶋楫子伝

8月27日(土)上映会場である天神山文化プラザホールの入場者数を気にしながら、楽しみにしていた映画「われ弱ければ」を観ることができました。

ほかならぬ三浦綾子さんの原作なので、これまで全く知らなかった(ゴメンナサイ!)矢嶋楫子さんのことを知れるワクワク感でした。

三浦さんの言『20代で教師になった私が、もしその頃に矢嶋楫子のことを知っていたら、もっとちがう教師になれていたと思う・・・』で幕が開き、江戸時代・安政五年から楫子伝が展開していきます。

武士である夫の酒乱から逃れ、まだ小さい娘を抱いて婚家を出ます。時代は明治になり、楫子は小学校の教師を経てのち、アメリカ人の女性宣教師からすすめられ、ミッションスクールの校長となります。楫子の気持ちが動いたのは、耳にした評判『その学校は、生徒が悪いことをしたら叱るのでなく、抱きしめるそうよ。』がきっかけだったように見えました。私の心臓もキュンと拍動。楫子はまだクリスチャンではありませんでしたが、自分の煙草失火をきっかけに40代で洗礼を受けました。

93歳まで活動した矢嶋楫子さんの社会貢献については、ここに列記するつもりはありません。ただ、彼女が出会った聖書の人物たちの赤裸々な姿(部下の妻を奪って部下を殺した王など)が隠すことなく書かれた聖書の中に楫子自身の罪が照らされ苦しみ、そして「赦す神」と出会ったのであろうと思いました。だからこそ、校則違反者が多くて問題になったとき、楫子は生徒たちに「あなたたちはひとりずつ聖書を持っています。自分で自分を治めなさい。」と説き、教員たちが呆気にとられるなか、すべての校則を撤廃できたのでしょう。校則廃止後は一人の違反者も無かったそうです。杖をつけて挨拶された山田火砂子監督(90歳)の、文字通り火のような熱意に背中を押された日でした。

D.T. 姉

映画、観なかった!

という方もご安心
矢嶋楫子も登場する

マンガ「四賢婦人物語」

紹介するのは Y.F.さん(小学校四年生)です

この本は、4人の姉妹の生き方を書いた話です。私は4人中でかじ子(勝子)が好きです。4人の中の一番下です。職業は先生です。かじ子が好きな理由は、自分の気持ちをはっきりと伝えて、すごいなと思ったからです。例えば自分の旦那さんに、自分から離縁を言い出しました。昔は男の人に離縁を申し込むことはよくない事でしたが、自分からはっきり言いました。かじ子が好きなもう一つの理由は、自分が納得しないと決して行動しないところです。たばこは良くないと言われたのに、火事になってやっとやめました。かじ子の友達はその性格を知っていて、かじ子のやる気が出るまで洗礼を受けたら、ということはいません。昔の女の人にはめずらしいです。他の3人のお話も面白かったです。4人も違う性格で、生き方も違います。皆さんもおもしろく読めると思います。ぜひ読んでみてください。



三野恵子姉「アート」の交差展

～“生活と共にある犬の陶造型”

9/10(土)～18(日)

Gallery108 (岡山市北区南中央町)

会場では、多くの作家作品が並ぶなか、三野姉の作品はすぐ分かりました。ご本人の説明書に頂きました。『人気ペットを形どったフェープ、取っ手に犬がいるマグカップ、犬が蓋の取っ手になるキャンディポット。これらの生活と共にある作品は、色粘土を使い、一つずつが手捻り(ロクロで制作)で作られています。型を使わないので、いずれもが世界でただ一つの陶造型です。』編集部として、夏のオアシスのような取材ができました。



イギリスのエリザベス女王の葬儀に際して、女王自身が選んだ聖書の朗読箇所と讃美歌です。一部の掲載ではありますが、共に味わいたい讃美と御言葉です。声に出して朗読し、讃美してみませんか？

あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。もしなかつたら、あなたがたのために、わたしたしは場所を備えに行くのです。わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。わたしの行く道はあなたがたも知っています。」

トマスはイエスに言った。「主よ。どこへいらつしやるのか、私たちにはわかりません。どうして、その道が私たちにわかりましょう。」

イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」

ヨハネ福音書十四章一～九節

- 1 主はわがかいぬし われはひつじ、みめぐみによりて すべて足れり。
- 2 青草の原に われを伏させ、憩いの水辺に 伴いたもう。
- 3 主はわが魂 生きかえらせ 正しき道へと みちびきたもう。
- 4 死の陰の谷を 行くときにも、災い恐れじ、 主ともにます。
- 5 恵みにあふるる うたげひらき、油そそぎたもう、 わが頭に。
- 6 命ある限り さちはつきず、主の家にわれは 永久に住まわん。

讃美歌 21 120 番